

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月10日

計画の名称	鯉ヶ沢町における循環のみちの実現													
計画の期間	令和05年度～令和06年度(2年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	鯉ヶ沢町													
計画の目標	下水道管路情報をデジタル化することにより業務の効率化を図る。 内水浸水リスク情報を住民等に的確に伝達し、適切な避難行動を促すために必要となるソフト対策を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		36	A	36	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R5当初)		(R6末)
1	管路情報確認のために来庁された方の待ち時間を10分(R5当初)から3分(R6末)に短縮する。 来庁者の待ち時間を計測する	10分	分	3分
2	避難が必要な地区の内水浸水ハザードマップ配布率を0%(R5当初)から100%(R6末)へ増加させる。 内水浸水ハザードマップを配布した世帯/内水浸水ハザードマップを配布すべき世帯(避難が必要な世帯)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鰯ヶ沢町	直接	鰯ヶ沢町	-	-	調査・設計等	下水道情報のデジタル化	鰯ヶ沢町	■					8		-
	A07-002	下水道	一般	鰯ヶ沢町	直接	鰯ヶ沢町	-	-	調査・設計等	内水浸水想定区域図の作成等	鰯ヶ沢町	■	■				28		-
										小計						36			
											合計						36		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 鰯ヶ沢町建設水道課で事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和 7 年 9 月
	公表の方法 鰯ヶ沢町ホームページに掲載
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和 5 年度から令和 6 年度の 2 年間で下水道管路情報をデジタル化し、業務の効率化が図れ、管路情報確認のために来庁された方の待ち時間の短縮を図ることができた。 また、内水浸水ハザードマップを作成し、避難が必要な世帯へすべて配布が完了したことから、内水浸水リスク情報の伝達と非常時の適切な避難行動を促すための対策を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（令和 7 年度から令和 1 1 年度）社会資本整備計画において、鰯ヶ沢地区及び舞戸地区の公共下水道整備を引き続き行っていく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	来庁者の待ち時間		
	最 終 目標値	3分	
	最 終 実績値	3分	
2	内水浸水ハザードマップ配布率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

(参考図面)

